

## 戯画公式アンソロジー V.G. 姫神 (1995年)

### CONCERT OF LED GODDESS (10ページ)

- ・メイン登場キャラ：優香・輝美
- ・ギャグ シリアス
- ・健全 エロ(服破れ)

は『傾向』を独断で表したもので、『評価』ではありません。

特にオチ的なものは無く、  
優香と輝美のひたすら熱い闘いがモノローグを添えて描写される。

お互いギリギリの状況で意地のみで技を繰り出し、  
最後は一步の差で優香が制する。

### ライオンから一言

モノローグは実にバトルバカ的(いい意味で)。

「彼女達の闘いに理由などいない」「戦うのが好きだから」「強いライバルと闘いたいから」  
「そして相手に勝ちたいから」「その為にどんなリスクを負っても女神達は戦う」

VGの根底はこれで正しいと思いますね。

ただし最後のひとつ、「どんなリスク」をどう解釈するかによって、  
暗黒三部作のように「バトルバカ」が「ただのバカ」になる危険性も孕んでますが('A)